

第1回 ものづくり現場用語検定委員会

令和5年8月10日

一般社団法人東京都金属プレス工業会

議事次第

1. 貫井専務理事開会挨拶
2. 東京都委託事業「デジタル技術活用による業界活性化プロジェクト」の概要説明
3. ものづくり現場用語検定委員の紹介
4. 委員長の選出
5. 本プロジェクトの進め方
6. その他

東京都委託事業「デジタル技術活用による業界活性化プロジェクト」

～会員満足の向上と会員増強を目指す～

ものづくりポータルサイト「TMSAコネクテッド」による新たな価値の創造とブランディング戦略

TMSAコネクテッドによる新たな価値の創造。そして、新しいビジネスモデルを創出することにより、ブランディングを向上させ、更なる業界活性化を目指す。





動画配信サイト TMSA プレスチャンネルの創出

TMSA プレスチャンネルの取り組み

- 外部の映像企画、制作会社とのコラボレーションのもと、既存のコンテンツの大幅なブラッシュアップと、新しいプラットフォームへ作り変える。
- 既存のコンテンツを無理無く学習できる適正な収録時間に再編集すると共に、今後制作するコンテンツの長さや使用する資料を規格化し、講師の先生への演出を行う。
- 垂直的(新入社員、中堅、管理・監督職、経営幹部等の向け先各階層別)、水平的(安全教育、用語・基礎知識、初級技能、専門技能、専門知識、生産・工場管理、経理、財務、法務、保安防災等の分野別)の整理を行う。
- 講義の中心的な教材であるPowerPointスライドを本会オリジナルデザインで統一し、使用フォントの種類やサイズを規格化する。

世界への扉を開くグローバルポータル創出

世界において産業競争力を発揮していくためには、自社の技術的強みを把握し適切に管理すること、企業生産性や経営力の強化等を通して自己価値を高めていくことが必須である。TMSAコネクテッドに新たに「グローバルポータル」を設置し、世界の素形材産業界・金属プレス産業界と接点を作り、世界の技術や市場動向を調査し発信することで、本会会員企業がグローバルに技術優位性を確保するための強力な手段を提供する。

productronica 2023 (Trade Fair for Electronic Development and Production) ドイツ ミュンヘン

会期 2023年11月14日~17日

工業会ブースを出展

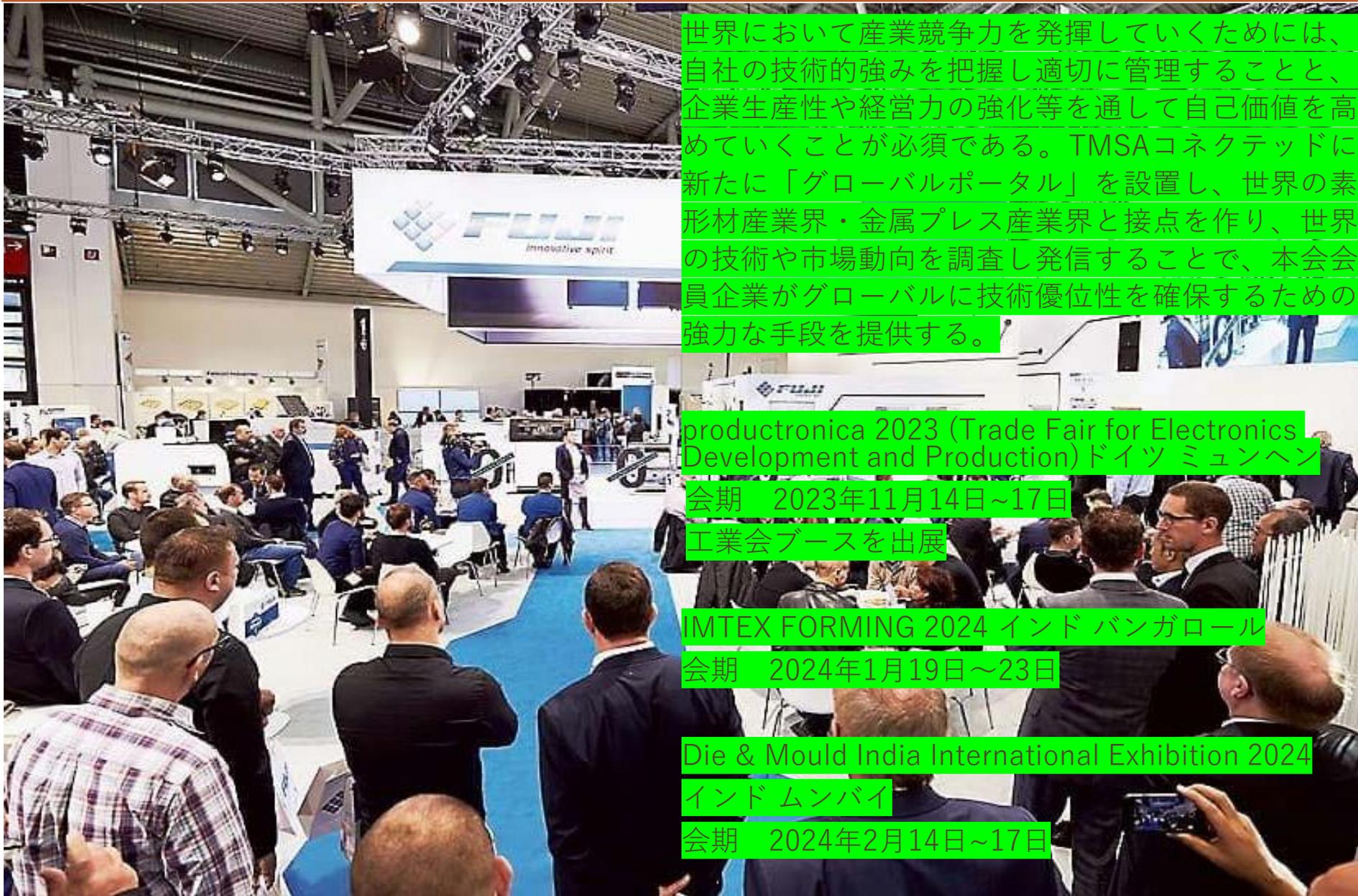
IMTEX FORMING 2024 インド バンガロール

会期 2024年1月19日~23日

Die & Mould India International Exhibition 2024

インド ムンバイ

会期 2024年2月14日~17日





型管理ポータルエンハンス

本会は、2022年度デジタル技術活用による業界活性化プロジェクトを通じて、発注企業と受注企業双方で型情報を管理することで、不要な金型の廃棄・返却、保管費用の申請がシステマティックに進められよう環境整備に務めてきた。これによって、会員企業は唯一の型情報を効率的に集めて管理することが可能になった

継続事業として引き続き型管理の適正化を目指して行く。

製造業版「ものづくり現場用語検定」

本会は、工業立国ニッポンを支える人材育成は、製造業の生命線と考え、いろいろな形で教育の拡充を図っている。

従業員の自己啓発の一環として、社内認定資格制度を導入している企業は多いが、工業会独自の検定制度を策定する。

検定制度とは、従業員が持つべき技術・技能や知識などのスキルを設定し、それらに応じた試験や研修を行うことによって、従業員が保有するスキルを判定するというものである。

各方面で活躍される有識者で構成するものづくり現場用語検定委員会を設置し、工業会認定教科書の作成と用語検定の試験問題を作成する。



3. ものづくり現場用語検定委員名簿

(敬称略)

役職	氏名	会社名	役職
専門委員	石橋 弘彰	(株)日刊工業新聞社	編集局第1産業部長
〃	内原 康雄	(株)NCネットワーク	代表取締役社長
〃	小野田一夫	(有)カズ・システム	取締役社長
〃	片岡 征二	元湘南工科大学	教授 日本金属プレス工業協会 技術・教育教育委員長
〃	小渡 邦昭	塑性加工教育訓練研究所	代表
〃	添田 善信	東京都立城東職業能力開発センター	講師
〃	中島 次登	中央労働災害防止協会	技術支援部 労働安全コンサルタント
〃	森 和男	(一財)先端加工機械技術振興協会	理事
〃	木下 浩司	(株)アマダプレスシステム	プレスシステム事業本部 エンジニアリング部プレスGR
委員	高橋 恭久	(株)タカハシテクノ	代表取締役社長
〃	増田 靖治	(株)増田製作所	代表取締役社長
〃	貫井洋一郎	(一社)東京都金属プレス工業会	専務理事
事務局	栗原 一利	〃	

4. 委員長の選出

4. 本プロジェクトの進め方

(1) 用語選定の定義

(2) 委員謝金について

(3) 事業スケジュール

(1) 用語選定の定義

収録範囲

CAD/CAM/CAE、金型製作、プレス加工、生産管理、金型標準化、潤滑油、材料、プレス作業、図面、測定、溶接、工具、安全衛生、AI/IoT、プレス機械、板金機械、周辺機器などについて本的、実務的な用語を厳選し、会員企業従業員がわかりやすく、正しく理解できるように解説する。

収録語数 厳選300ワード

用語選定のルール



Adobe Acrobat
文書

(2) 委員謝金について

ものづくり現場用語検定委員会は、今年度の東京都委託事業の4つ目のパートである製造業版「ものづくり現場用語検定」事業に関する役割を担う。主な内容としては、①会議出席、②工業会認定教科書に収録する用語の選定、③原稿チェック、④初校ゲラの校正、⑤資料提供（場合によってはインタビューの協力）、⑥試験問題（各自30問）の作成などがある。

本委員会委員の役職は、専門委員と委員に区分し、専門委員へは謝金として16,000円を、委員は他の委員会委員と同様に旅費・交通費として2,000円を支払う。



Adobe Acrobat
文書

製造業版「ものづくり現場用語検定」

著名なブックライター上阪 徹氏が執筆を担当し、新発想の面白くてためになるものづくり現場用語 eブックを制作し、工業会検定教科書として採用する。



上阪 徹氏 (ブックライター)

プロフィール；

1966年、兵庫県生まれ。89年、早稲田大学商学部卒。アパレルメーカーのワールド、リクルート・グループなどを経て、94年よりフリー。経営、金融、ベンチャー、就職などをテーマに、雑誌や書籍などで幅広く執筆やインタビューを手がける。

これまでの取材対象者は3000人超。自らの著書を出版する他、経営者など他の方の本をインタビューで書き起こす「ブックライター」としても活躍。

担当した書籍は100冊以上、携わった書籍の累計売上は200万部を超える。ブックライター実績には、36万部を超えた『「ついていきたい」と言われるリーダーになる51の考え方』（サンマーク出版）などがある。また、インタビュー集に40万部を超えた『プロ論。』シリーズ、『外資系トップの仕事力』シリーズなどがある。

その他

1. 次回会議日程 1 0 月 日 () 時 分
2. 用語選定 締切 月 日 ()